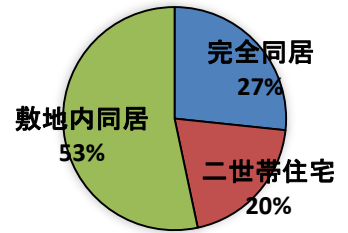


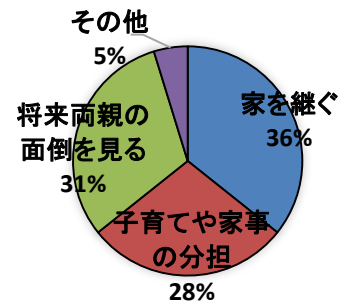
ゆったり子育て三世代同居応援事業アンケート(H30年度集計)

問1 現在の家族形態はどれですか	%
1. 三世代完全同居	27%
2. 二世帯住宅での同居	20%
3. 敷地内での同居	53%



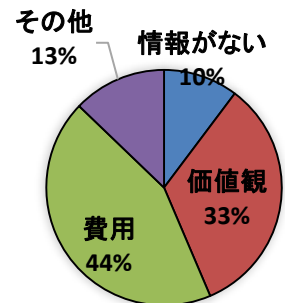
問2 三世代同居をしようと思った理由は何ですか(複数回答可)	100%
1. 子世代が家を継ぐため	36%
2. 子育てや家事を分担するため	28%
3. 将来両親の面倒を見るため	31%
4. その他	5%

・親が住んでいる家が古く、建て直そうと思った時に声を掛けた。
 ・経済上の節約。
 ・子育てを援助してもらいたかった。
 ・娘の積極的な後押しがありました。



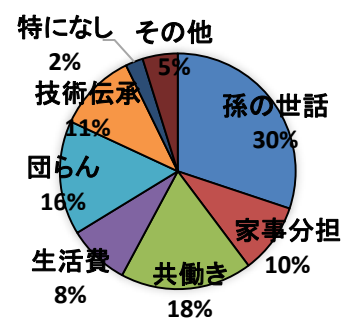
問3 三世代同居をするにあたり、課題となったことは何ですか(複数回答可)	100%
1. 三世代同居をしている人の情報がなく不安であった	10%
2. 親世代と子世代の価値観の相違があった	33%
3. 同居のための住宅の改築(新築)費用が多くかかった	44%
4. その他	13%

・特になし。
 ・長い間一緒に住むことになるので、うまくやっていけるか不安がありました。
 ・他人同士の気のつかい合い。
 ・家の場所が駅から遠く、不便であること。
 ・新築のため母屋敷地内にあった古い建物を壊す必要があり、その片付けや解体が手間、費用とも大変だった。
 ・解体、建築中に親世代にアパート暮らしをしてもらうこと。
 ・地元の行事に参加しなければならなくなること。



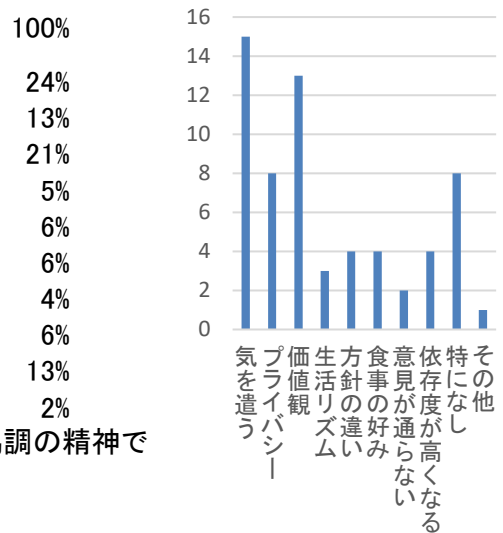
問4 三世代同居をして良かったと思うところはどこですか(複数回答可)	100%
1. 忙しいときに親世代が孫世代の世話をしてくれる	30%
2. 家事が分担できる	10%
3. 子世代が共働きを続けられた	18%
4. 分かれて住むより生活費が削減できる	8%
5. 異世代交流ができ、家族団らんの機会が増える	16%
6. 親世代の子育て技術や昔話などを伝承できる	11%
7. 特になし	2%
8. その他	5%

・有事の際、協力を依頼できて安心。
 ・曾孫の無邪気な言動が楽しい。
 ・いろんなことが分担できるので、気持ち的に落ち着いて生活ができます。
 ・土地の購入が不要であること。
 ・農業なので仕事が生かせる。



問5 三世代同居をして苦労した、難しかったと思うところはどこですか(複数回答可)

- | | |
|----------------------------|-----|
| 1. 近くで家族が生活しているため気を遣う | 24% |
| 2. プライバシーが保てない・保ちににくい | 13% |
| 3. 世代によって価値観が一致しない | 21% |
| 4. 生活のリズムが合わない | 5% |
| 5. 教育・子育て方針の違いがある | 6% |
| 6. 食事の好み合わない | 6% |
| 7. 家族が多いため、自分の意見が通らないことがある | 4% |
| 8. 家族への依存度が高くなり、自立心が薄まる | 6% |
| 9. 特になし | 13% |
| 10. その他 | 2% |



- ・世代の違いで価値観の相違はありますが、何でもお互い協調の精神で生活していきたいと思えます。
- ・駅から遠くなり生活が不便になった。
- ・地元の行事に参加する必要が生じた。
- ・全ての祖父母が孫をかわいいと思ってくれるわけではないということが、よくわかった。
- ・三世代で同居したからといって、子育てにゆとりがもてるわけでも、手伝ってもらえるわけでもないし、かわいがられるわけでもない。同居＝孫にとってプラスでは決していない。

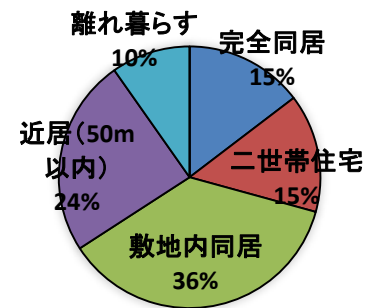
問6 これから三世代同居をする人へのアドバイスをお願いします

- ・親世代が子どもの面倒をみってくれるので、すごく助かります。
- ・問1～問5までのことを新三世代同居を望む人に伝えること。大勢で暮らすのは大変だが、折れる所は折れ、辛抱することが大切。大勢で暮らすと楽しい。
- ・三世代が同居する事により、助け合って生活する事ができて、皆が心豊かに暮らせると思います。
- ・三世代同居の一番のメリットはやっぱり親世代に孫世代の面倒を見てもらえることだと思います。保育園へ預けるといった手段もあるとは思いますが、身近な人に見てもらえる安心感は他人に預けることとは大きく違います。
- ・家計の面で、おかずのやりとりなどにより助かる部分、また交流につなげることができていると思います。地域柄、実家に敷地が余っているお宅は多いと思われ、住宅購入費を抑える、将来の子供の養育費の確保といった面でも、ぜひ活用をおすすめしたいと思います。
- ・三世代同居は高齢化社会に合致した生活様式だと思います。
- ・子どもの面倒など大人の手が多く必要な時に大変助かります。
- ・子どもも常に多くの家族の中で暮らしているので、人見知り少なくコミュニケーション力が高くなると感じました。
- ・お互いに関わりすぎない。子育ては間違いなく楽になる。
- ・共働きで朝が早く、子供が小学生になったら、一人で朝出ることになるのを心配していました。親世代と三世代同居をすることで、「いってらっしゃい」「おかえりなさい」と言ってもらえるので良かったです。
- ・家庭内での決め事を最初に決めておいた方がいいと思います。
- ・親世代、子世代での価値観の違いが課題となる。世代的部分のギャップもそうであるが、育った環境の違いも表れてくる。予めその部分に対して、話し合いや一定のルールを決めた方が後々の過ごし方が気持ちのいいものになると感じている。
- ・キッチン、お風呂などを別々にする。生活リズムが違うため。
- ・共有スペースの掃除などの管理を誰がするか分担しておく、ストレスがたまりにくいと思います。自分ができそうにない時は遠慮せず頼ることも同居する場合には大事だと思います。
- ・親世代、子世代で譲れないポイント、逆に譲れるポイントなどを少しでも話し合っておくと良いと思います。またキッチン、冷蔵庫、お風呂、トイレなど水回りの共有はとても気をつかうので、よく相談した方が良いと思います。
- ・各々がなるべく気をつかわないような間取りにしたため、思ったよりマイナス面がなく、良かったです。
- ・二世帯にするなら、玄関から2カ所に分ける完全二世帯住宅にすべきです。税金も安くなる。生活時間が違うので、出入り、帰宅時間等気をつかいます。

- ・完全分離での二世帯住宅にしたため、騒音という観点から鉄筋コンクリートにした事は、長い目でみてよかったですと思っています。
- ・完全同居ではないので、一緒に住んでいない分お金はかかるが、プライベートの時間を同居よりは持てるので、敷地内に建てるのが良いと思う。
- ・敷地内同居が一番良いと思う。
- ・敷地内同居なので、ほどよい距離感が保たれているので問題はないです。
- ・敷地内同居なら、なんとかなると思います。
- ・同居しなくていいなら、すべきではない。

問7 あなたにとって理想の家族形態はどれですか(複数回答可)

1. 三世帯完全同居	15%
2. 二世帯住宅での同居	15%
3. 敷地内での同居	36%
4. 三世帯の近居(それぞれの世代の住宅が50m以内にある)	24%
5. 世帯が離れ暮らす(それぞれの世代の住宅が50m以上離れている)	10%
6. その他	0%



問8 問7で理想の家族形態を選んだ理由についてご記入ください

完全同居

- ・完全同居であれば日々の子どもの体調の変化など、ちょっとしたことも親に気づいてもらえ、子どもの成長に良いと思う。大勢で暮らすのは、大変であるが楽しい。
- ・家族(特に孫)の笑顔を見るのが元気の基で健康に良い。三世帯の大家族で旅行等に行くのが楽しみです。
- ・大勢で暮らすのは、大変であるが楽しい。
- ・娘夫婦との同居なので、協力しやすく良い。
- ・子どもの成長に良いと思う。

二世帯住宅

- ・共有スペースのある二世帯住宅だと、顔を合わせないことがなく、話しをする機会が持てるので、子どもの様子や出来事を話したり、自然にお互いの様子がわかるところがいいと思う。また、それぞれの世帯でプライバシーが保たれているので、お互いに気をつかうことが少なく良いとおもう。
- ・完全分離だと、1世帯が空いた時の有効な使い方に不安があるため。近居でもそのような面では良いのかと思う。共働きになる時、家に誰かがいてくれる安心感があります。

敷地内での同居

- ・プライバシーを保てるのでいいと思います。
- ・プライベートの時間も完全同居よりはあり、祖父母に孫を見てほしい時に見てもらえるから。
- ・お互いの生活リズム、プライバシーを守りつつ、子育てなども協力してもらえるといます。
- ・住居は別の方が、お互いに気をつかわなくて良い。敷地内での同居であれば、困った時にすぐに相談できる。
- ・敷地内での同居が、家族が仲良くいられる最適な距離だと思ったので。
- ・義理の親と同居する配偶者の事を思うと敷地内同居の方が良いと思う。

近居(それぞれの世代の住宅が50m以内にある)

- ・ほどよい近居が一番気楽で良い。
- ・いらぬ気をつかわず、助けてほしい時は、すぐに行ける距離が良いと思う。

敷地内同居・近居

- ・孫世代の世話を任せられるため、特に子どもと共に病気にかかった際など助けてもらえることが大きい。
- ・互いの価値観や生活リズムを守りつつ、日常的に顔を見たり手助けしあえる距離感が良いと思う。
- ・他人同士が同じ空間で生活するのは、やはりストレスになる。そのストレスを我慢できるメリットがないと完全同居はやめた方が良い。

二世帯住宅・敷地内同居・近居

- ・ほどよい距離感を持ちつつ、お互いを干渉しないのが一番。親も子供も、多様な価値観に触れることができる。
- ・どちらの両親と同居かにもよって違うかと思います。娘世帯と同居なら、二世帯住宅でもあまり問題ないが、息子世帯だと、敷地内・近居くらいの距離感の方がいいかもしれません。
- ・他人同士が同じ空間で生活するのは、やはりストレスになる。そのストレスを我慢できるメリットがないと完全同居はやめた方が良い。

離れて暮らす(それぞれの世代の住宅が50m以上離れている)

- ・両親が孫の顔を毎日見たいかもしれないけど、ある程度離れていた方が、たまに会った時の喜びは大きい。同じ市内に住んでいれば、いつでも会いに行ける。
- ・子育てのサポートもしてもらえながら、お互いの生活ペースが分からない程度の近距離に住むのが一番良いと感じている。
- ・祖父母の存在が孫にとって悪影響でしかないため。孫にとって「自由にのびのびと…」を想像していたが、祖父母に「あれだめ、これだめ、汚すな、さわるな、さわぐな、うるさい。」と言われる。アパート暮らしの方がまだのびのび自由に遊ばせてあげることができたから。

共通

- ・どの形態でも、それぞれの家庭・環境に適した形態を見つけることが必要だと思うから。